

**#2 イスラエル人が配置され宿営したことは、  
神の贖われた人たちが究極的に完成されて新エルサレム  
となることを予表する(民数記結晶の学び) 2019/3/4-10**

**I. 民数記 2:2 で、エホバはモーセとアロンに言いました、  
「イスラエルの子たちは、それぞれ自分の旗の下に、その父  
祖の家の旗じるしの所で宿営しなければならない。彼らは  
集会の天幕に向かって、四方に宿営しなければならない」:**

**A. 配置され宿営した事柄において、人の選択はありませんでした。イスラエル人はどの部族から生まれようと、その部族の旗の下に宿営しなければならず、自分の選択を持つことは許されていませんでした。**

**B. この予表の霊的な意義は、召会の組み合わせにおいて、信者たちは自分の選択を持つことが許されていないということです。彼らの組み合わせは、完全に神の定めと案配から出て来たものでなければなりません。**

**C. イスラエル人の中には十二の旗(集会の天幕の四つの側にそれぞれ三つの旗)がありました。ただ一つの中心的な目標がありました。彼らは集会の天幕と神の証しを彼らの中心としていました: 1. 神の民が神と会うために、幕屋は集会の天幕と呼ばれました。**

**2. 神の証しのために、幕屋は証しの幕屋と呼ばれました。**

**3. 新約において、キリストとキリストの拡大としての召会はいずれも、幕屋のこれら二つの面の実際です。【月】**

**II. イスラエルの子たちが配置され宿営したことは、神の贖われた人たちが究極的に完成されて新エルサレムとなることを予表します:**

**A. イスラエル人は集会の天幕に向かって、東、南、西、北の四つの方向に宿営しました。これは、神の証しが四方に向いていたことを意味します。**

**民 2:3 東側の日の出るほうに宿営する者は、その部隊にしたがったユダの営所の旗の者でなければならない。ユダの子たちの族長…9 ユダの営所に属し、その部隊ごとに数えられたすべての者は、十八万六千四百人であった。彼らは先頭にとって出立しなければならない。**

**B. 四つの側にそれぞれ三つの営所がありました。三は三一の神を指し、四は創造された人を指します。三かける四は、神聖な三一における神が創造された人とミングリングされて一になることを表徴します。**

**C. 三かける四は十二です。十二はまた、永遠と完成、ならびに行政と統治を指しています。**

**D. こういうわけで、イスラエル人が配置され宿営したことにおける数によると、彼らの編成は、神が神聖な三一において、創造された人とミングリングされて、永遠の完全な統治の単位を形成することを表徴しています。【火】**

**E. 啓示録 21 章の新エルサレムには四つの側があり、それぞれの側には三つの門があります。新エルサレムの四つの側にある門の総数は十二であり、十二の門にはイスラエルの十二部族の名があります。啓 21:12-13 それには大きな高い城壁があり、十二の門があつて、その門には十二人の御使いがおり、刻まれた名があつた。その名はイスラエルの子たちの十二の部族の名である。東に三つの門、北に三つの門、南に三つの門、西に三つの門があつた。**

**F. 啓示録 21:2~3 によれば、新エルサレムは神の幕屋です。民数記 2 章でイスラエル人は幕屋の周りに宿営しました。この絵は啓示録 21 章の新エルサレムの記述と一致します:**

**啓 21:2 私はまた聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように整えられて、天から出て神から下って来るのを見た。3 そして、御座から大きな声がこう言うのを聞いた、「見よ、神の幕屋が人と共にある。神は彼らと共に幕屋を張り、彼らは神の民となり、神自ら彼らと共にいて、彼らの神となる。**

**1. 啓示録 21 章の新エルサレムに四つの側があるように、民数記 2 章の宿営にも四つの側がありました。2. 新エルサレムには四つの側にそれぞれ三つの門があります。その上には十二部族の名があります。同様に、民数記 2 章でイスラエルの十二部族が宿営したことにも、四つの側にそれぞれ三つの部族がありました。3. これはすべて永遠の光景を描写しており、宇宙における神の定められた御旨が神聖な三一において人とミングリングされて、統治の単位となることであることを見せています。この統治の単位は、彼の証しのために戦うことができます。4. 十二部族は宿営した時、都のようでした。新エルサレムの四つの側の城壁は、都の保障です。5. 民数記の配置され宿営した軍隊の十二の営所は、新エルサレムの城壁に符合します。同様に、召会の中の組み合わせは、神の証しを保障するためです。6. 各地の召会の行政は、その地の神聖な行政のために、「三かける四」、すなわち「十二」であるべきです。この行政は軍隊であり、神のために戦い、神の証しを維持します。【水】**

**III. 新エルサレムには、「大きな高い城壁があり、十二の門があつて、その門には十二人の御使いがおり、刻まれた名があつた。その名はイスラエルの子たちの十二の部族の名である」(啓 21:12):**

**A. 城壁は分離と保護のためです。新エルサレムは絶対的に神へと分離され、神の權益を完全に保護します。**

**B. その城壁は大きく高いのです。今日すべての信者は彼らの分離と保護のために、そのような大きく高い城壁を必要とします。**

**C. 神の永遠のエコノミーの中で、御使いは仕える霊です。彼らは、救いを受け継ぐ者、新エルサレム(新天地の中心)の永遠の祝福にあずかる者たちに仕えます。**

**D. これらの御使いは、私たちの所有を守る門番ですが、私たちは神の永遠のエコノミーの中で豊富な嗣業を享受する者です。**

**E. 啓示録 21:12 で、イスラエルは旧約の律法を代表し、新エルサレムの門が律法を代表することを示しています。律法は、監視し観察して、聖なる都の出入りする交流のすべてが、律法の要求に合うことを保証します。**

**F. イスラエルの十二部族の名が十二の門に刻まれているのは、この十二部族が聖なる都の入り口であることを表徴します。これらの入り口は福音の宣べ伝えを通して人々を三一の神の豊富の中へと導き、都の中の供給を享受させます。ルカ 15:10 私はあなたがたに言う。これと同じように、一人の罪人が悔い改めるなら、神の御使いたちの前で喜びがある。【木】**

**IV. 「十二の門は十二の真珠であり、門はそれぞれ一つの真珠からなっていた」(啓 21:21 前半):**

**A. 真珠は、死の水の中の真珠貝によって生み出されます: 1. 真珠貝が砂粒(小さな石)によって傷つけられると、命の液を砂粒の周りに分泌し、それを尊い真珠にします。2. これが描写するのは、生ける方であるキリストが死の水の中に入って来て、私たちによって傷つけられ、彼の命を私たちの上に分泌して、私たちを神の永遠の住まいと表現である建造のための尊い真珠にすることです。イザヤ 53:5 しかし、彼は私たちの違反のゆえに傷つけられ、私たちの罪科のゆえに砕かれたのである。私たちの平安のために懲らしめが彼に臨み、彼の打たれた傷によって、私たちはいやされた。3. 聖なる都の十二の門が十二の真珠であることが表徴するのは、死に打ち勝ち、命を分泌するキリストによる再生が、その都への入り口であるということです。**

**4. これは、イスラエルによって代表されている、また護衛する御使いたちが観察している律法の要求に符号します。キリストの勝利の死と命を与える復活によって達成された一度で永遠の再生を通してのみ、私たちは都に入ることができます。**

**5. 神は一つの入り口において三一であつて、私たちが神の中**



へと、神の権益の中へと、神の王国の中へと、神のエコノミーの中へともたらし、それは新エルサレムにおいて究極的に完成されます。三一の神は、私たちの三一の入り口です。【金】

**B. 真珠は、**キリストの二つの面における分泌の結果を表徴します。この二つの面とは、彼の贖い命を解き放つ死と、彼の命を分与する復活です：**1.** いずれの種類の分泌(分与)も、追い求める信者たちがキリストの復活の力によって、毎日キリストの死を主観的に経験して、キリストの死に同形化されることを必要とします。**2.** 私たちはキリストの復活の力によってのみ、キリストの死を経験することができます。私たちはキリストの復活の力によって、あわれな自己を十字架の上に保つ能力と力を持ちます。**ピリピ3:10** **キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて。****3.** 私たちはまたイエス・キリストの霊(復活の実際)の満ちあふれる供給によって、毎日キリストの復活を主観的に経験して、神の長子のかたちと同形化されることを追い求めるべきです。**ピリピ1:19** **というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。****4.** キリストの死は、キリストの復活を通してのみ経験することができます。キリストの復活は、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給によってのみ、私たちにとって実際的なものとなることができます。**5.** 私たちは霊に戻るとき、命を与える霊としてのキリストと会います。この霊はキリストの復活の実際です。私たちは絶えず祈ることによって、私たちの霊の中でいつもキリストに触れていなければなりません。**6.** 私たちに適用された彼の死は、私たちを彼の死の鋳型に同形化し、私たちの中の彼の霊は、私たちを彼のかたち(神の長子のかたち)の栄光へと同形化します。**7.** 私たちはみなこのように祈る必要があります、「**主よ、私を常にあなたの死の中に監禁し、保ってください。私はあなたの死から去りたくありません。私はあなたの死を、私の甘い、素晴らしい住まいにしたいのです。主よ、私はあなたと共に、あなたの死の中にとどまっていたいのです。**」**8.** 彼の死は、彼がご自身を私たちの周りに分泌する地位を持つ場所です。またこれは、彼の復活の命を享受し経験することができる唯一の場所です。この復活の命は、一種の命の液であって、私たちの周りに分泌して、私たちを素晴らしい一粒の真珠とならせます。それは、神の建造に入るためです。**9.** キリストが私たちのために傷つけられたのは、私たちを彼の傷の中に監禁するためでした。それは彼が私たちの全生涯にわたって、何度も何度も私たちの周りに彼の分泌を施して、私たちを真珠にし、神の永遠の住まいを建造するためです。**10.** 私たちは主観的に真珠になればなるほど、ますます新エルサレムの中におり、ますます王国の中におります。【土】

**用語の説明:**

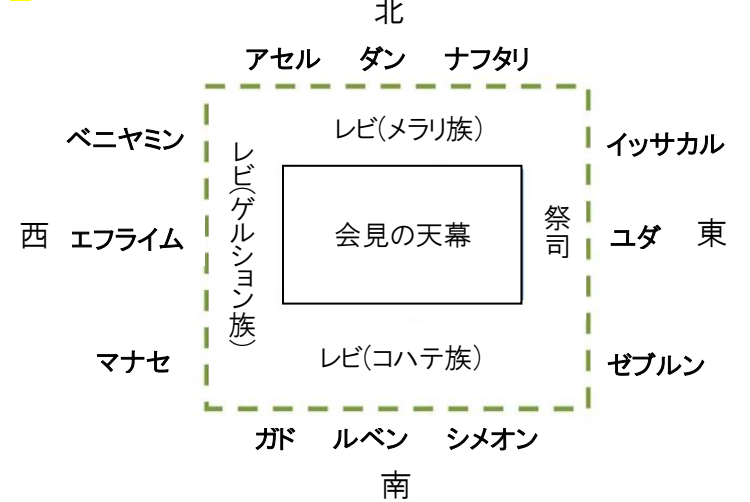
**I. 新エルサレム:** **A.** 新エルサレムは全聖書の結論であり、聖書のすべての項目の究極的完成です。  
**B.** 従って、新エルサレムは物質的な邸宅ではありません：  
**(1)** ヨハネの啓示録はしるしの書である：啓示録1:1 **イエス・キリストの啓示** **これは、すぐにも起こるべき事を、神が彼の奴隷たちに示すために、彼に与えられたものである。彼はそれを彼の御使いによって、彼の奴隷ヨハネに送り、しるしによって示された。** 啓示録は「しるし(Signs)」の書です。啓示録の獅子、小羊、燭台、男の子、初穂、小羊の花嫁などはすべてしるしです。例えば、ほふられた小羊は、贖いのために十字架上で死なれたキリストのことを言っています。それはキリストが実際に四つ足の羊になったという意味ではありません。そうではなく、「しるし」によってキリストの十字架上の贖いの働きを説明しているのです。新エルサレムは聖書の最後で最大の「しるし」です。

**(2)** 新エルサレムが物質の邸宅であると考えるのは論理的でない：新エルサレムは神の建造の究極的完成です。神の建造は霊的な建造であり、そのために私たちは霊的な命の成長と霊的な奉仕において前進することを追い求める必要があります。こういうわけで、建造の究極的完成が霊的な建造ではなく、物質の邸宅であるということはありません。

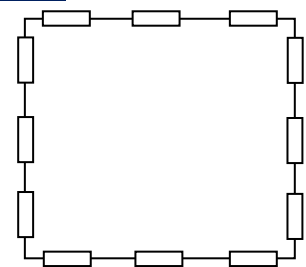
**(3)** 新エルサレムとは何か：新エルサレムは、全聖書の結論であり、神のエコノミーの究極的完成です。それは、手順を経た三一の神と神の選び、贖い、再生し、造り変えられ、栄光化された三部分から成る人とのミングリングによって生み出された有機体、神と人の相互の住まいです。新エルサレムはキリストのからだの実際であるので、召会生活の中でキリストのからだの実際を拡大させるとは、新エルサレムを建造することと同じです。ハレルヤ！私たちは今、新エルサレムを建造するために召会生活を送っているのです、召会生活には永遠の価値があります。

**II. イスラエルの宿営は新エルサレムを予表している:**

**A. イスラエルの宿営:**



**B. 新エルサレムの12の門:**



**OL1:** イスラエルの子たちが配置され宿営したことは、神の贖われた人たちが究極的に完成されて新エルサレムとなることを予表します。イスラエル人は集会の天幕に向かって、東、南、西、北の四つの方向に宿営しました。これは、神の証しが四方に向いていたことを意味します。

**OL2:** 四つの側にそれぞれ三つの営所がありました。三は三一の神を指し、四は創造された人を指します。三かける四は、神聖な三一における神が創造された人とミングリングされて一になることを表徴します。

**OL3:** 三かける四は十二です。十二はまた、永遠と完成、ならびに行政と統治を指しています。こういうわけで、イスラエル人が配置され宿営したことにおける数によると、彼らの編成は、神が神聖な三一において、創造された人とミングリングされて、永遠の完全な統治の単位を形成することを表徴しています。

**OL4:** 啓示録21章の新エルサレムには四つの側があり、それぞれの側には三つの門があります。新エルサレムの四つの側にある門の総数は十二であり、十二の門にはイスラエルの十二部族の名があります(啓21:12-13)。



## Crucial Point①:新エルサレムの真珠の門

啓 21:21 十二の門は十二の真珠であり、門はそれぞれ一つの真珠からなっていた。OL1:真珠は、死の水の中の真珠貝によって生み出されます。真珠貝が砂粒(小さな石)によって傷つけられると、命の液を砂粒の周りに分泌し、それを尊い真珠にします。OL2:これが描写するのは、生ける方であるキリストが死の水の中に入って来て、私たちによって傷つけられ、彼の命を私たちの上に分泌して、私たちを神の永遠の住まいと表現である建造のための尊い真珠にすることです。

真珠は門です。そしてこの比喩の重点は私たちが真珠にされればされるほど、さらに私たちは新エルサレムの中にいることを意味します。私たちは主イエスを信じて再生されました。そしてこれは私たちが新エルサレムの中に入る開始でした。しかし当時、経験的には私たちはかろうじて新エルサレムに入りました。主の死の中にとどまり、また彼の命を分泌する復活を享受するにつれて、もっと新エルサレムの中に入り込みます。…私たちはみな自分がどのくらい新エルサレムの中にいるのか、またどのくらいまだ門の外にいるのか、自分自身に問うてみる必要があります。聖なる都の中に入る唯一の道は、さらにキリストの死の中にとどまり続けることによります。(神の新約エコミー #33)

### 適用: 中高生/大学生編

すでに救われたあなたは、再生によって真珠の門を通して新エルサレムの中に入りました。救われた後、霊を活用して十字架に留まることで、さらに新エルサレムの中に豊かに入るべきです。例えば、あなたはクラスメートの中で人間関係において合わない人がいます。ところが、先生のアレンジの下でその人と一緒に作業をする必要が出てきました。このような時、あなたはその霊の中の十字架の殺す効果にあずかるために、自分のミングリングされた霊を活用し続ける必要があります。そうすれば、あなたとその人との間の敵意となる隔ては十字架につけられ、あなたはその人より平和の中で作業することができます。十字架はあなたに十字架の殺す効果と命の液をあなたにもたらして、小さな石であるあなたを真珠に造り変えます。そして真珠の経験は、あなたを新エルサレムの豊かな祝福の中にもたらすのです。

祈り:「おお主イエスよ、私は救われた時に、新エルサレムの中にある程度入りました。しかし、経験上、私はさらに新エルサレムの中に入る必要があります。真珠の門を通して、新エルサレムの中に入るために、私は毎日主観的に真珠を経験する必要があります。キリストの死の中に留まる時、小さな小石である私によって傷つけられた主から出て来る命の液によって、私は真珠になります。私が経験的に、さらに真珠の門を通して新エルサレムの中に入れますように。」

## Crucial Point②:新エルサレムの12の門と12人の御使い

啓 21:12 大きな高い城壁があり、十二の門があつて、その門には十二人の御使いがおり、刻まれた名があつた。その名はイスラエルの子たちの十二の部族の名である。

啓示録 21:12 で、イスラエルは旧約の律法を代表し、新エルサレムの門が律法を代表することを示しています。律法は、監視し観察して、聖なる都の出入りする交流のすべてが、律法の要求に合うことを保証します。…これらの入り口は福音の宣べ伝えを通して人々を三一の神の豊富の中へと導き、都の中の供給を享受させます。十二の門には、イスラエルの十二部族の名が刻まれています。…これは律法が十二の門を監視していることを示します。律法には供給したり、養ったりするものは何もありません。律法は私たちに何かを要求するだけです。律法は門を監視しています。もし罪人が聖なる都に入ってくるとしたら、律法の要求が満たされなければなりません。律法はあなたがその要

求を満たしたことを確かめるための門番または門の見張り人です。あなたが「歩いて門を通りつ」、主イエスの名を呼ぶ時、律法は、あなたはよろしいと言います。あなたがイエス・キリストの中にいる限り、律法のすべての部分の要求は満たされ、あなたは大丈夫です。あなたは今、聖なる都の中に入ることができます。…三一の入り口に来た時、私たちは「特別優待チケット」を持っていました。なぜなら、キリストが私たちのために代価を払ってくださったからであり、門の見張り人(律法)はキリストを尊ぶからです。

さらに、私たちは十二の門に十二人の御使いを見ます。これは、御使いたちが新エルサレムへの入り口を監視していることを表徴します。それぞれの門には十二部族のうちの一つの名を帯びているだけでなく、一人の御使いもいます。律法は要求し、御使いは監視します。御使いたちは観客です。神の新約エコミーの領域全体は実際には「大きな展覧会」です。この展覧会の中に入るには、「特別優待チケット」が必要です。この展覧会には観客がいます。これらの観客は御使いたちです。もしキリストの御名を告白しないなら、「特別優待チケット」を手に入れることはできません。しかしながら、もし主イエスの御名を呼ぶなら、聖なる都に入る「特別優待チケット」を得ます。そして御使いの観客は歓喜して、あなたを歓迎します。…ルカ 15:10 で、主イエスは言われました、「一人の罪人が悔い改めるなら、神の御使いたちの前で喜びがある」。私たちは主イエスを信じ、悔い改めて、彼の尊い御名を呼んだとき、おそらく認識していなかったのですが、天では無数の御使いたちが「手をたたいて」、歓喜していたのです。ローマ 8:4 それは律法の義の要求が、肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩く私たちにおいて、満たされるためです。ガラテヤ 5:19 さて、肉の働きは明白です。すなわち、淫行、汚れ、好色、20 偶像礼拝、まじない、敵意、争い、しつと、怒りの爆発、党派心、分裂、分派、21 ねたみ、泥酔、宴楽、そのような類の事柄です。…そのような事を行なう者は、神の王国を継ぐことはありません。22 しかし、その霊の実は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善良、信実、23 柔和、自制です。このような事に反対する律法はありません。24 しかし、キリスト・イエスのものである人たちは、肉をその情と欲と共に十字架につけてしまったのです。25 もし私たちが霊によって生きているならば、霊によって歩こうではありませんか。26 虚栄に陥って、互いにいどみ合ったり、ねたみ合ったりすることのないようにしなさい。24 節 FN「十字架の経験」:十字架の経験には、三つの面があります:(1)キリストによって成就された事実、(2)その成就された事実を私たちが適用すること、(3)十字架を負うことによって、私たちが適用したことを日ごとに経験することです。

### 適用: 青年在職/大学院生編

キリストの贖いは律法の義の要求をすべて満たしたので、主の御名を呼び、バプテスマされた人はみな、門を通して入ることができます。しかし、救われた後、あなたは命の中でさらにいっそう救われる必要があるため、あなたは肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩むことを学ぶ必要があります。そうすればあなたはさらに新エルサレムの中に実際的に入り、観客である御使いたちは大歓声を上げてあなたを応援しているのです。あなたは、ビジネス・ライフや研究生活でこの事実を見て励まされるべきです。祈り:「おお主イエスよ、神のエコミーは大きな展覧会のようにであり、主役は私たちであり、観客は御使いたちです。主の御名を呼び、霊に戻り、肉の働きを十字架に付ける時、私はさらに新エルサレムの中に入ることができます。この時、御使いたちは大歓声を上げて、私たちの入ることを喜んでいます。」



## 新エルサレムのこれらの要点を福音の宣べ伝えのために使う

もし私たちがこのメッセージの豊かな要点のすべてを聖徒たちに提示するならば、福音の宣べ伝えのためにも要点のすべてを使うことができると私は信じます。私たちは神の究極的結果が何であるかを罪人に示し、これらの要点をもって福音を伝えることができます。神の救いの究極的結果は、三一にある神をこのようなすばらしい、卓越した、豊かで、驚くべき方法で享受することであると、私たちは彼らに示すことができます。罪人たちが理解できないと思っははいけません。正しく提示すれば、彼らは理解することができると思ひます。私たちはすべての祝福を指摘しなければなりません。

### I. 高い福音 第八課 キリストは命である

コロサイ 3:4 私たちの命なるキリストが現される時、あなたがたも、彼と共に栄光のうちに現されます。

その霊であるキリストは私たちに命を与える

「命を与えるのはその霊である(ヨハネ 6:63)」と聖書は言っています。しかし、その霊が与えるこの命とは何でしょうか？ 私たちは命に多くの形があることを知っています。この世には植物の命と動物の命があります。比較すれば、植物の命は低く、動物の命は高いです。これらの二種類の命より高いのが人の命です。今日、この地上は、種々の植物の命と動物の命であふれており、人の命を持つ人類も全地を満たしています。これらのすべての命の形はすばらしいものです。しかし第四種類の命があります。それは神の命であって、神の非受造の命(造られたものではない命)です。

#### 最高の命

この最高の命の特徴は何でしょうか？ 第一に、この神の命は神聖です。神聖であるとは、神のものであること、神の性質を持っていること、他のすべてのものに超越して、他と区別されていることを意味します。神だけが神聖です。ですから彼の命は神聖なのです。さらに神の命は永遠です。神の命は非受造であり、初めもなく終わりもありません。私たちはみな、ある時、ある日に生まれましたが、人の命は確実に死をもって終わることを知っています。しかし神の命は初めがなく、永久に続きます。何世紀にもわたって人はいつまでも生きることを願いましたが、成功したためしがありません。しかし神は自ら存在し、永遠に存在しておられます。神の命は尽きることなく、変わることがありません。神の永遠の命は永遠に持ちこたえるだけでなく、性質において何の欠点も欠陥もなく、絶対的に完全であり、完ぺきなのです。

神の永遠の命は御子キリストの中にある

Iヨハネ 5:11, 12 は言います、「これが証しです。すなわち、神が私たちに永遠の命を与えられ、そしてこの命が彼の御子の中にあるということです。御子を持つ者は命を持っています。神の御子を持たない者は命を持っていません」。ここで私たちはこの永遠の命は御子の中にあると告げられています。それは他のどこにも見出されません。

神の御子が死と復活を通過し、聖霊となられた後、彼はもはや時間と空間とに制限されていません。私たちは今やどんな時でも、どんな所でも彼を受け入れることができます。このようにして神の御子を受け入れたの

です。同じように、今や聖霊を受ける者はだれであれ御子を受けます。Iコリント 15:45 は、「最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです」と言っています。キリストが命を与える霊と成った目的は、キリストを受け入れたすべての人に新しい命を得させるためです。彼らのもろもろの罪が赦されるだけではありません。彼らは永遠の命を相続するのです。

#### 呼吸するように

F・B マイヤーは主によって大いに用いられた人でした。最初の頃、彼はどのようにしてキリストが聖霊の中で私たちに命となり得るのか認識していませんでした。また、彼はこの命をどのように受けるべきかを見ていませんでした。ある日、彼は山の上で神の御子を命として獲得できるようにと期待しながら祈っていました。突然、彼が行わなければならないすべては、単純に信じることであるということが彼の心に浮かびました。彼は深く息を吸い込んで祈りました、「主よ、私がこの空気を吸い込むのと同じように、あなたを受け入れるために、私の信仰を働かせます」。山から下りて来た時、彼は他の人たちに証して言いました、「神の御子を吸い込んだ日以来、私の生活は全く変わりました」。

#### 食べ飲みすることによって、神聖な命を成長させる

神聖な命が入ってくると、私たちは再生され、神の命を持ち、神の子たちとなります。私たちの人生においても、生まれた後、食べ飲みすることによって私たちは成長し続けます。同じように霊的食物としてキリストを食べることによって、また命の水としてその霊を飲むことによって、私たちの霊の命は成長していきます。日ごとに、私たちはキリストを食べ飲みしながら、神聖な命の中で成長していきます。このようにして、私たちは神で満たされた人となり、ついには生活の中で神を表現するまでになるでしょう。これがクリスチャン生活の意義です。

#### 詩歌 380 キリストを経験する — 命として

- |    |  |   |
|----|--|---|
| 1. | えいこうのいのち！<br>ぜん、義、せい、ひかり！<br>かみの栄こう、豊富、<br>わがいのちなる主、 | それはキリスト！<br>このいのち豊富！<br>主のうちにあり、<br>わがうち供給す。    |
| 2. | しんせいのないのち！<br>かれはれいとなり、<br>うんこうし、照らし、<br>満たし、うるおして、  | それはキリスト！<br>わがうちに住む。<br>あぶらもて塗り、<br>わがうち供給す。    |
| 3. | たいのうのいのち！<br>われもともに死に、<br>ともに復かつて、<br>主、大能かい験させ、     | それはキリスト！<br>つみより解かれ、<br>主とともに生く。<br>わがうち供給す。    |
| 4. | 勝利を得たいのち！<br>十字架の勝利にて、<br>サタン、この世、人情に、<br>勝利のいのち、いま、 | それはキリスト！<br>とりことさせず。<br>われを勝たせる；<br>わがうち供給す。    |
| 5. | 栄光、神せい、たい能、<br>つよめ、打ちかたせ、<br>つくり変え、似させ、<br>上げられる日まで、 | しょうりのいのち！<br>せいちょうさせる；<br>ちようえつさせる；<br>わがうち供給す。 |